

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

共にいること

金 雄 一

(アシステンツァ桜川診療所 所長)

平成ひと桁年に母校・奈良県立医科大学の脳神経外科に入局して医師としてのキャリアをスタートさせた私は、人のご縁に恵まれて一昨年の6月から「特別養護老人ホーム アシステンツァ桜川」併設の診療所々長として医療業務に従事しております。

アシステンツァとはイタリア語で「Assistenza = 共にいること」という意味であることを、恥ずかしながら私は最近になって知りました。当初は「マンションの名前としてありそうだな」とか、その語感から「カールスモーキー石井、フランク永井、ゼンジー北京などの芸名に近いな」と感じたものでした、というのは冗談です。その実「assist」という語幹が入っていることで、自分勝手に文字通り「援助」くらいの意味と捉えていたのです。

さて、19世紀に活躍した北イタリアのカトリック司祭で、教育者でもあったドン・ボスコという聖人がいます。1815年8月16日にピエモンテ州カステルヌオヴォ郊外ベッキ村の貧しい農家に生まれた彼は、1841年にサルデーニャ王国の首都トリノで司祭に叙階されます。当時のイタリアの国情は不安定でした。イタリア統一運動で教会と政府が対立し、また産業革命で労働問題が激化し社会に大きな

影響を及ぼしていました。そのような時代でしたので、若者・子供達は教育どころか劣悪な環境の中で過酷な労働を強いられている有様でした。

そういった現実直面した彼は、貧しい若者・子供達のために生涯を捧げることを決意、1859年にサレジオ会を設立し、学校事業・社会事業を通じて多くの人々を導きました。1888年1月31日に彼はこの世を去りましたが、葬儀には10万人余りが参列したとのことです。(因みに私はキリシタンではありませんし、当施設・診療所は宗教事業とは一切関係がないと聞いています。)

彼は自分の教育法を「予防教育法」と名付け、それは「愛情・道理・信仰」を基盤としています。(「信仰」は「信念」と言い換えてもよいかもしれません。)
「予防教育」とは耳慣れない言葉ですが、「予防医学」の教育版と考えればすなりと理解できるのではないのでしょうか。「予防医学」は「個人もしくは集団を対象として、健康保持・疾病予防の方策を研究、実践する医学の一分野」と辞書的に説明されます。ここで「健康保持・疾病予防」を「(若者・子供達の)精神的健全性を育む」とでも言い換えてみて下さい。どうでしょう、しっくりこないでしょうか？そして



その「方策を研究、実践する」ために「愛情・道理・信念」が必要であるということです。しかし、それだけでは充分ではありません。彼は言います。「子供を愛するだけでは足りない。子供は、自分が愛されていると感じないといけない」と。

前述しましたが「Assistenza」とは「共にいること」を意味します。「教育において主役は教師ではなく子供自身です。教師は子供と付き合いながら、その生活に参加し、助言し、見守ったりします。『共にいること』によって心が通い合う。親子の場合や師弟の場合も『共にいること』が教育の基本であり、日常生活の付き合いがなければ、幾ら素晴らしいことを話しても通じないであろう」と。

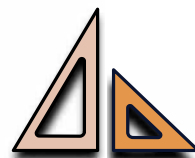
私は、ここで上記の「教育」を「介護・医療」と再変換してみました。すると当初私が安直に「援助」と誤解した言葉に、当施設の基本が老人ホームであることに鑑みますと、如何に深い意味・願いが込められていたのかが分かります。私はそれに気付かず当診療所に2年以上勤めていたのです。恥ずかしい限りです。

「共にいること」。私はこの言葉を胸に気持ち新たに、おこがましくて恐縮ですが、微力ながらこの地域の医療・福祉の一翼を担っていきたくと願っています。それが出来るならば本当に幸甚に思う今日この頃です。

(2013年 初秋の頃に)



理事会報告



◎平成 25 年度 10 月定例理事会

日 時 平成 25 年 10 月 25 日〈金〉

午後 8 時～

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 日本医師会「在宅医リーダー研修会」伝達講習（研修）会（郡市区等医師会在宅医療担当理事連絡協議会）（11 月 7 日〈木〉）の出席者について

＜佐久間会長＞

標記講習会の出席者を決めたい。

協議の結果、有田副会長に決定。

2. 新型インフルエンザ等に関する打合せ会（新型インフルエンザ等担当理事対象）（11 月 21 日〈木〉）の出席者について

＜佐久間会長＞

標記打合せ会の出席者を決めたい。

協議の結果、中村理事に決定。

3. 第 38 回大阪府医師会社会保険指導者講習会（伝達講習会）（12 月 6 日〈金〉）の出席者について

＜佐久間会長＞

標記講習会の出席者を決めたい。

協議の結果、佐久間会長、澤井副会長、菱川副会長、橋村理事、奥山理事に決定。

4. 産業医（アンフィニジャパンソーラー株式会社）の申請について
- ＜金田理事＞
資料のとおり、企業から産業医推薦の依頼があった。

協議の結果、池田良彦先生に決定。条

件等については企業と直接交渉してもらうこととなった。

5. その他
なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について
(10月24日〈木〉) <佐久間会長>
次第は次のとおり。

▷開会
▷会長挨拶
▷報告事項

(1) 第130回日本医師会臨時代議員会(10月13日)報告の件

▷連絡事項

(1) 第21回泉州国際市民マラソン大会
開催に伴う医師派遣の件

(2) 平成25年度社会保険指導講習会開催
依頼の件

(3) 平成25年度(第38回)大阪府医師会
社会保険指導者講習会(伝達講習会)
開催の件

(4) 11月度行事・会合日程の件

▷協議
▷閉会

(詳細 略)

2. 大阪府医師会連合会委員会について
(10月21日〈月〉) <佐久間会長>
次第は次のとおり。

▷連絡事項

(1) 大阪市公衆衛生活動事業補助金の件

(2) 大阪市小児用肺炎球菌予防接種に使用
するワクチン変更の件

(3) 大阪市における産業医委嘱の件

(4) 大阪市立保育所「食物アレルギーに
関する生活管理指導表」の件

(5) 委員会委員の任期に関する件

▷報告事項

(1) 大阪市障がい程度区分認定審査会役員
会(10月9日)報告の件

(詳細 略)

3. 大手前病院地域医療支援病院運営委員会
について

(10月17日〈木〉) <佐久間会長>
次第は次のとおり。

▷開会
▷挨拶
▷議事

(1) 病院の概要等

(2) 脳卒中医療連携システムについて

▷その他

▷閉会

(詳細 略)

4. 東部地区医師会懇親会について

(10月12日〈土〉) <有田副会長>

10月12日、上本町シェラトン都ホテル
内 四川にて開催された。

東成区中村会長の声掛けの元、東部ブ
ロック8医師会長、副会長による懇親会
が開催された。

各医師会の現状や、悩みなどそれぞれの
自己紹介とともに、屈託のない意見交換
会があり、今後も、定期的に開催するこ
ととなった。次回幹事は、生野区医師会
の予定。

(詳細 略)

5. 浪速区地域支援調整チーム地域ケア会議
について

(10月16日〈水〉) <橋村理事>
次第は次のとおり。

▷随時地域ケア会議の報告

▷随時地域ケア会議を実施したケースか
ら見えてきた地域課題を考える

▷その他

(詳細 略)

6. 学校保健協議会全体会について

(10月10日〈木〉) <川田理事>
次第は次のとおり。

▷開会のことば
▷会長あいさつ
▷来賓あいさつ

▷来賓紹介

▷第1部総会

(1) 議事

- ①平成24年度 事業報告
- ②平成24年度 会計報告
- ③平成24年度 会計監査報告
- ④平成25年度 事業計画
- ⑤平成25年度 予算
- ⑥平成25年度 役員紹介

(2) 閉会のことば

▷第2部研修会

(1) 講演 演題「現代の子どもに必要な『生きる力』とは？」

講師 山口 照美

(2) 質疑応答

(3) 実践報告

(詳細 略)

7. 60周年検討・実行・編集委員会について
(10月11日〈金〉) <徳田理事>

次第は次のとおり。

▷式典、祝賀会の案内について

▷区医だよりに掲載する告知文(10月号、11月号、12月号)について

▷式典、祝賀会の次第・時間割について

- (1) 式典(17時～18時)
- (2) 祝賀会(18時～20時)

▷その他

(詳細 略)

8. 学術講演会について

(9月28日〈土〉) <富永理事>

講演内容は次のとおり。

演題 「電気の流れで理解する心電図 その4」

講師 国立循環器病研究センター
循環動態制御部

室長 高木 洋 先生

出席者数 13名

共 催 興和創薬株式会社

情報提供 選択的DPP4阻害剤－2型糖尿病
治療剤－スイニー錠 100mg

(詳細 略)

9. 医療問題研究委員会について

(10月9日〈水〉) <富永理事>

次のテーマに沿って意見交換を行った。

テーマ「医師会のあり方について

～国民目線で医師会をイメージアップ
するにはどうすればいいか？」

(詳細 略)

10. 医療介護ビジネス創造研究会について

(10月05日〈土〉) <久保田理事>

次第は次のとおり。

▷趣旨説明・開会挨拶

▷講演 「『梅酒と健康について』

～梅酒ダイニングの試み～」

演者 江戸川病院 腫瘍血液内科副部長
感染制御部部長、梅酒研究会会長
明星 智洋

▷参加先生自己紹介及び課題の発表

▷ディスカッション

▷交流会

▷閉会

(詳細 略)

11. 大阪警察病院地域医療支援病院運営委員会について

(10月19日〈土〉) <久保田理事>

次第は次のとおり。

▷挨拶

▷開会の辞

▷議事

(1) 地域医療支援病院 紹介・逆紹介率

(2) 地域医療連携センター利用状況

(3) 紹介元医療機関・逆紹介先医療機関リスト

(4) その他議題

(詳細 略)

12. 大阪府立成人病センター病診連携ネットワーク講演会

(10月24日〈木〉) <久保田理事>

次第は次のとおり。

▷開会の辞

▷地域医療連携室からのお知らせ

▷成人病センター 診療科紹介

▷講演

- (1)「消化管の早期がんに対する内視鏡的治療」
消化器内科 部長 石原 立
- (2)「進行・再発肺がんの科学療法」
呼吸器内科 部長 今村 文生
- (3)「前立腺がんに対するロボット支援手術」
泌尿器科 部長 西村 和郎
- (4)「大阪府のがん地域連携クリティカルパスの現況」
診療局長 東山 聖彦

▷閉会の辞

(詳細 略)

13. 第5回医療介護連携会議について

(10月24日〈木〉) <金田理事>

次第は次のとおり。

▷機材貸出しの件

▷対象患者確定

▷医療情報共有システム仕様変更について

▷検証スケジュール

(詳細 略)

14. 第46回病診連携委員会について

(9月30日〈月〉) <金田理事>

次第は次のとおり。

▷第45回病診連携委員会報告について

▷ブルーカード事例検討等報告について

▷病診連携委員会のアンケート結果について

▷在宅医療や病診連携への取組み等について (南医師会)

▷ブルーカードの病病連携について

▷ブルーカードの様式について

▷ケアマネからの問い合わせ方法について

▷その他

(詳細 略)

15. その他

- (1) 社会福祉協議会からのアンケートについて<橋村理事>理事(診療所管理医師)を対象に配付した。

次回総務会

平成25年11月22日〈金〉 午後8時～

10月度

学術講演会報告

日 時 10月19日〈土〉 午後2時

演 題 気管支喘息と慢性閉塞性肺疾患(COPD)
～その鑑別とオーバーラップ症候群～

講 師 北野病院 呼吸器センター

副部長 丸毛 聡 先生

出席者数 17名

共 催 杏林製薬株式会社

情報提供 気管支喘息に対するキプレス錠の有用性

司 会 有田繁広

1. 背景

喘息死は吸入ステロイドの普及と共に減少し、近年の喘息死の大部分が高齢者である。一方、慢性閉塞性肺疾患(COPD)による死亡は近年増加傾向である。また高齢者では喘息とCOPDの合併が増加する。以上のような背景から喘息・COPDの死者を減らすためには、両者の鑑別・合併の認識、診療レベル向上が必要である。

2. 喘息・COPDの定義の問題点

本邦では、2012年日本アレルギー学会から「喘息予防・管理ガイドライン」、2013年日本呼吸器学会から「COPD診断と治療のためのガイドライン」が発行された。これらのガイドラインにおいて喘息には明確な診断基準はない。しかしながら喘息の診断においてはCOPDの除外を、COPDの診断においては喘息の除外をするように謳われている。

3. 喘息とCOPDの鑑別

喘息とCOPDは根本的には異なる病態の疾患であり、治療方針決定の為には可能な限り鑑別することが望ましい。鑑別には気流閉塞の可逆性・気道過敏性・拡散能・呼気NO・喀痰中好酸球数・HRCTなどの専門的な検査

が必要である。これらの検査の為に積極的な病診連携が必要である。

4. 喘息とCOPDの合併(オーバーラップ症候群)

喘息とCOPDは鑑別することが望ましいとされる一方、両者の合併(オーバーラップ症候群)は少なからず存在し、高齢者において特にその割合は増加する。オーバーラップ症候群では著しい肺機能低下・予後悪化を来すため、積極的にオーバーラップを疑う必要がある。

5. オーバーラップ症候群の薬物治療

オーバーラップ症候群の薬物治療の第1選択は吸入ステロイド・長時間作用型 β 刺激薬(ICS/LABA)配合剤である。吸入療法は高齢者・低肺機能患者では手技不良によりドライパウダー定量噴霧器(DPI)製剤では十分な治療効果が得られないことがある。そのような際にはスパーサーを用いた加圧噴霧式定量吸入器(pMDI)製剤の選択が有効であることも

しばしば経験する。また、オーバーラップ症候群でも多いと思われるアレルギー性鼻炎合併患者や喫煙曝露患者ではロイコトリエン受容体拮抗薬(LTRA)の併用効果も期待される。

6. まとめ

近年喘息とCOPDにおいて病態(気道炎症)・併存症・治療薬など様々なオーバーラップが明らかとなってきている。今後は喘息またはCOPDのどちらかの単一の疾患と診断するのではなく、個々の患者において喘息・COPDの病態がどのような割合で存在するのかを評価し、患者別のオーダーメイド診療を行うことが肝要であると考えられる。

12月度学術講演会のお知らせ

12月の浪速区医師会講演会はおやすみです。次回多数の先生方の参加をお待ちいたします。



ローン案内

大阪府医師信用組合「いししん」は、大阪府医師会員の専門金融機関として、ご融資を通じて医療・介護経営と暮らしをサポートいたします。

住宅に関する資金に 有担保型ローン

- 自宅の購入、新築、リフォーム
- 建築用地先行取得
- 他行住宅ローンのお借換え など



▶ 平成26年3月末までキャンペーン金利実施中

限度額

期間3・5年以内

2億円 年0.975%

(変動金利)

●当初10年間固定金利型商品のお取扱いもございます

自動車の購入資金に 無担保型ローン

- 自家用車
- 往診車
- 患者用送迎車



▶ ディーラーローンよりお得

限度額

期間7年以内

1,000万円 年1.80%

(固定金利)

お子様の教育に関する資金に ▶ 私立医大の入学金・授業料にも対応



有担保型ローン

限度額

期間20年以内

5,000万円 年1.775%

(変動金利)

無担保型ローン

※大学入学・在学時の資金に限りです

限度額

期間10年以内

1,000万円 年2.475%

(変動金利)

※表示金利は平成25年11月にお借入れいただく場合の適用金利です。お申込み時点ではなく、実際にお借入れいただく日の金利が適用されます。

上記以外のローン商品も取り揃えております
詳しくは本店融資課まで(担当者による訪問も可能です)

TEL 06-6762-7381
<http://www.odcu.co.jp/>

大阪府医師信用組合

健康展

10月26日(日)、浪速区民センターで開催した。
今年度は、徳田好勇理事が「糖尿病」をテーマに講演を行った。
また、例年通り、一般市民からの健康相談コーナーを設けた。



医学会総会

11月10日(日)、大阪府医師会にて開催され、
久保田泰弘理事が発表をおこなった。

テーマは、「未来の医療情報共有のあり方と方法論」。

多くの先生方に聴講いただいた。



The 60th anniversary

一般社団法人 浪速区医師会 創立60周年記念事業についてお知らせ

本会の創立60周年記念事業につきましては、去る9月初旬、会員各位あてご案内および「区医だより」8月号以降でお知らせいたしましたとおり、記念式典・祝賀会の開催と記念誌「60年の歩み」の発刊を予定しております。

記念式典・祝賀会の開催日、会場および記念誌の発刊については下記のとおりです。

記

1. 創立60周年記念式典・祝賀会について

開催日 平成26年1月18日（土）

式典 午後5時

祝賀会 午後6時

場 所 スイスホテル南海大阪 8階「浪華」の間

※ 当日は、配偶者の方の長年のご苦勞に報いる機会にしたいと考えております。
ご夫妻でのご出席をお待ちしております。

2. 記念誌「60年の歩み」発刊について

① すべての会員各位のご寄稿をお待ちしております。

ぜひご協力ください。

② 記念誌には、記念式典・祝賀会の模様や写真を載せた上で、発刊する予定です（26年7月頃発刊の予定）。

③ ご寄稿は、次の要領でお願いいたします。

▷テーマ 自由

▷字 数 800字以内（400字詰原稿用紙2枚以内）

▷本人写真 必ずご提供ください（式典・祝賀会の際に撮影も可能です）

▷原稿締切 11月30日（土）

▷原稿送付方法 原稿・写真画像はできるだけメールにてご送付ください

▷メールアドレス naniwakuishikai@isis.ocn.ne.jp

※ メールにて送付が困難な場合は、郵送でも結構です。本会までご郵送ください。

〒556-0005 浪速区日本橋5丁目21番15号

一般社団法人 浪速区医師会

浪速区医師会 活動の伝言板

平成 25 年 12 月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

三 歳 児 健 診

●保健福祉センター

12 月 26 日(木)午後 1 時 40 分～ 3 時 30 分

小児科 本田 秀明

眼 科 山尾 信吾

耳鼻科 中村 泰久

B C G 接 種

●保健福祉センター

12 月 19 日(木) 午後 2 時～ 3 時 30 分

池田 良彦・北村 栄作

急病診療所出務

●今里休日急病診療所

12 月 22 日(日) 10 : 00 ～ 17 : 00

前田 泰久・縄 嘉津記

●中央急病診療所

12 月 1 日(日) 準夜 17 : 00 ～ 22 : 00

西平 香代・城村 尚登

産業医健康相談窓口

●浪速区医師会

12 月 3 日(火) 14 : 00 ～ 16 : 00

徳田 好勇

12 月 20 日(金) 14 : 00 ～ 16 : 00

北村 栄作

●大丸デパート心斎橋店南館 8 F

12 月 14 日(土) 14 : 00 ～ 16 : 00

前田 泰久

浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。
多数のみなさま方の参加をお待ちしております。
(ときに時間変更される場合もありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。)

囲 碁 部 毎月第 1 ・ 3 ・ 5 (土)
(川田 信) pm 5 : 00～





あとがき

S.K

“ヘリコバクター・ピロリ菌(ピロリ菌)”

ヘリコバクター・ピロリ菌(ピロリ菌)は大変怖い細菌であることを忘れてはならない。ピロリ菌は症状はないが極めてたちが悪い細菌であり、胃粘膜に感染すると、胃炎から胃癌へと進行性に問題を生じさせる細菌である。感染しているにも拘らず症状がなく、手遅れになると重篤な病状を発症する。いつ感染したかもわからないまま、病状が進行し、慢性胃炎を経て消化性潰瘍やMALTリンパ腫、胃癌のような悪性腫瘍の発症の原因となるためピロリ菌は絶対に退治しなければならない細菌である。

これまでは潰瘍やMALTリンパ腫などの病変が形成された場合に限り、ピロリ菌感染の診断と治療が保険診療の適応であったが、平成25年2月21日からピロリ菌感染胃炎患者にも保険診療適応の疾患に加えられることになった。胃炎患者の場合には①内視鏡検査で胃炎が確定している。②ピロリ菌感染が疑われるために感染診断をする。③ピロリ菌感染が陽性であることが判明した等のことが保険適応されるというものである。

ピロリ菌に感染しているかどうかの判断は①培養法②鏡検査③迅速ウレアーゼ試験④尿素呼気試験⑤抗ヘリコバクター・ピロリ抗体測定⑥便中ピロリ抗原測定等がある。診断法には各々利点と欠点があり、上手に使い分けることが大切である。これらの検査のうち臨床の場では、内視鏡検査時には迅速ウレアーゼ試験、外来診察時には尿素呼気試験が適している。除菌治療前に陽性であった抗体が6ヶ月、1年、2年後に陰性になれば、除菌成功と考えて良い。

ピロリ菌の除菌薬はプロトンポンプ阻害剤常用量を1日2回、アモキシシリン750mgを1日2回、クラリスロマイシン200mg又は

400mgを1日2回、合計7日間服用する。一次除菌に失敗した場合は二次除菌治療をする。二次除菌には一次除菌に使用したクラリスロマイシンをメトロニダゾール250mg、1日2回に代えたレジメである。ただクラリスロマイシン耐性菌が増加してきており、一次除菌の除菌率が低下していることが問題になってきている。

除菌治療にみられる副作用は下痢、軟便、味覚異常、舌炎、口内炎、皮疹、腹痛、放屁、腹鳴、便秘、頭痛、頭重感、肝機能障害、めまい、掻痒感などが報告されている。メトロニダゾールの含まれる二次除菌では、ワルファリンの作用を増強し、出血傾向が出現することがあるので、不整脈や狭心症、心筋梗塞後・ステント治療後などの合併疾患の頻度の高い高齢者においては、他医で処方されている治療薬を把握する必要がある。

ピロリ菌の感染時期や感染経路はすべて解明されているわけではないが、ほとんどが小児期に感染し、大人になって感染することは少ないと考えられている。現在の日本では若年者の感染率は低く、感染源が少ないことが感染率の低下に拍車をかけている。感染時期は2歳までの頻度が高く、家族内感染が主で、特に親子感染の重要性が指摘されている。

目次	ページ
巻頭言	
共にいること 金 雄一	1
理事会報告(10月開催)	2
10月学術講演会報告 有田 繁広	5
12月学術講演会のお知らせ	6
健康展・医学会総会報告	7
創立60周年記念事業についてお知らせ	8
浪速区医師会活動の伝言板	9
あとがき	10

【区医だより】

発行者 佐久間靖博
編集者 中村泰久 橋村直隆
印刷所 株式会社 サ ビ